



5年生「共に生きよう」体験学習

総合的な学習の時間で、「誰もが住みやすい沓掛の町を目指して」をテーマにした学習に取り組んでいます。子供たちが課題を発見するために、「車いす体験」「白杖体験」「点字体験」を行いました。障がいがある方の身になって感じることで、補助の仕方を考えることをめあてに取り組みました。「車いすが揺れたとき怖かった」「白杖体験では誘導してくれる人がいると安心だった」「長い文章を打つのが大変だった」など、体験したからこそ気付けたことがたくさんありました。

